

2020年11月10日

報道関係者各位

<特別展のご案内>

東西の日本画

— 大観・春草・松園など —

会期：2021年4月3日（土）～9月26日（日）



岡田美術館（館長・小林 忠）は、2021年4月3日（土）から9月26日（日）まで、特別展『東西の日本画 一大観・春草・松園など』を開催いたします。本展は、明治から昭和にかけて東京と京都を中心に活躍した画家に焦点を当て、当館が誇る日本画コレクション約45件を一挙公開するものです。横山大観の大作「^{れいほういちもんじ}霊峰一文字」や、上村松園の代表作「^{しゅくみ}汐くみ」、速水御舟による水墨画の傑作「^{しゅんえんれいか}木蓮（春園麗華）」をはじめ、鏑木清方の美人画、村上華岳の観音像など、珠玉の近代日本画が一堂に会します。

加えて、満36歳という若さで世を去った菱田春草の没後110年にちなみ、春草作品全7件も展示。繊細さと清らかさに満ちた絵画世界をご覧ください。

新たな日本画の表現を模索し、東西で花開いた日本画家たちの作品は、色とりどりの魅力に満ちています。明治から大正、昭和にかけ、伝統と革新のはざまに挑戦し続けた画家たちの清新な日本画の数々をご堪能ください。

見どころ1

近現代の日本画コレクション、7年ぶりの大公開

大観「^{れいほういちもんじ}霊峰一文字」、松園「^{しゅくみ}汐くみ」、御舟「^{しゅんえんれいか}木蓮（春園麗華）」など、名品勢ぞろい

見どころ2

没後110年 菱田春草と日本美術院の画家たち

満36歳で世を去った春草の作品全7件を一挙公開

関連展示

近代×琳派

近代の日本画と、江戸時代の琳派の作品を共に並べ、琳派からの影響に注目

縦12m、横30mの大壁画「^{かぜ}風・^{とき}刻」作者・福井江太郎氏による

ライブペインティング作品「^む無」と「^{くう}空」同時初公開！

見どころ1 近現代の日本画コレクション、7年ぶりの大公開

大観^{れいほういちもんじ}「壹峰一文字」、松園「汐くみ」、御舟^{しゆんえんれいか}「木蓮（春園麗華）」など、名品勢ぞろい

当館が収蔵する近現代の日本画コレクションをテーマとした展覧会は、2014年の「大観・春草・御舟と日本美術院の画家たち」以来、実に約7年ぶりとなります。今回は、日本美術院に所属した画家だけでなく、^{うえむらしやうえん}上村松園や^{かぶらききよかた}楠木清方、^{むらかみかかく}村上華岳など、これまで一堂に会する機会のなかった東西の日本画家たちによる名品をご紹介します。

美人画ひとすじ、上村松園作品全4件を一挙公開



①上村松園「汐くみ」
昭和16年（1941）



上村松園「上臈観書之図」
大正～昭和時代 20世紀前半



上村松園「夕涼」
昭和時代 20世紀前半



上村松園「晴日」
昭和時代 20世紀前半

上村松園(1875～1949)について

明治の終わりから昭和にかけて京都で活躍した女流画家。数々の格調高い美人画を生み出し、昭和23年（1948）には女性初の文化勲章を受章しました。本展では、今なお高い人気を誇る松園の作品全4件を公開いたします。

近年人気急上昇「虎の翠石」、屈指の大作



②大橋翠石「虎図屏風」 明治時代 19世紀末～20世紀初頭



富士といえば大観！ 長さ約9メートルの大パノラマ



③横山大観「壺峰一文字」(部分) 大正15年(1926)

生涯に数多くの富士図をのこした横山大観でしたが、中でも本図は縦約1メートル、横約9メートルにも及ぶ大作です。この「一文字」(舞台にたれ下げる幕)は大正15年、当時文楽座の座頭であった三世竹本津太夫に贈られ、文楽の舞台で実際に使われました。同年11月に起こった火災から奇跡的に逃れた逸話も伝わっています。迫力ある黒雲の表現と、雪をかぶった富士山の神々しい姿に胸を打たれます。

横山大観(1868~1958)について

明治元年に生まれ、明治・大正・昭和の長きにわたり画壇の中心で活躍した日本画家。師と仰いだ岡倉天心の理想を継いで日本画の改革を先導し、昭和12年(1937)には日本で初めて文化勲章を受章しました。



④速水御舟「木蓮(春園麗華)」
大正15年(1926)

◀ 早春に咲く紫木蓮が、天へとまっすぐに伸びています。清らかでおごそかな魅力にあふれた、近代水墨画の傑作です。

絵画の求道者、速水御舟と村上華岳の深遠な世界

速水御舟(1894~1935)と村上華岳(1888~1939)は、妥協することなくひたすらに絵の道を追求した画家でした。本展では、当館収蔵の御舟作品4件、華岳作品3件を展示します。しかも、華岳の3件のうち1件は、華岳作品の中でもとりわけ人気の高い観音図です。



速水御舟「桃梨交枝」昭和3年(1928)



⑤村上華岳「観世音座像」
昭和12年(1937)

▲ 生涯を通じて描かれた観音像は、作画を「密室の祈り」とし、自己の内面と向き合い続けた華岳を象徴するモチーフです。

見どころ2 没後110年 菱田春草と日本美術院の画家たち

満36歳で世を去った春草の作品全7件を一挙公開

2021年は菱田春草^{ひしだ しゅんそう}（1874～1911）の没後110年。当館収蔵の春草作品全7件を特別に展示し、その繊細で清らかな絵画世界をご紹介します。加えて、春草が所属した美術団体「日本美術院」（次頁参照）の代表画家たちによる名品も公開いたします。

光も音も感じる、朝と夜の海



⑥ 「旭光耀々」
きよつこうようよう



⑦ 「海月」
かいげつ

◀ 朝やけに染まり始めた早朝の海と、満月の光に照らされた夜の海。光とともに、渡っていく鶴の鳴き声や波の音など、音までも伝わってくるような名品です。

菱田春草(1874～1911)について

明治期に活躍した日本画家。長野県飯田に生まれ、16歳で上京して東京美術学校（現在の東京藝術大学）に入学。岡倉天心^{おかぐら てんしん}に従い横山大観、下村観山らとともに日本美術院の創立に参加。古画の研究を行う一方、朦朧体^{もうろうたい}と呼ばれた、輪郭線を用いずに空気や光を表す革新的な描法を試みるなど、新しい日本画の創造に邁進しました。

※このページに掲載している7作品は、すべて菱田春草作、制作時期は「明治時代 20世紀初頭」です。



「薊に鳩」
あざみ



「蓬莱山」
ほうらいさん



「松間の月」
しょうかん



「瀑布の図」
たかくふ



「紅葉に小禽」
しょうきん

日本美術院について

明治31年(1898)、東京美術学校校長の職を退いた岡倉天心が、ともに辞職した橋本雅邦、横山大観、菱田春草、下村観山ら日本画家や、彫刻家、工芸家たちと創設した美術団体。大正2年(1913)に天心は逝去しますが、翌年大観を中心に再興され、川合玉堂、小林古径、小倉遊亀などが輩出しました。



⑧川合玉堂「溪村秋晴」
昭和時代 20世紀前半



下村観山「旭日」
大正～昭和時代
20世紀前半



⑨小林古径「白花小禽」
昭和11年(1936)

関連展示 近代×琳派(4階展示室)

「東西の日本画」展にあわせて、4階展示室では関連展示「近代×琳派」を開催します。近代の画家たちの多くは、自己の様式を模索する中で、琳派に学び、創作の糧としました。近代の日本画家たちと、江戸時代の俵屋宗達、酒井抱一、鈴木其一など琳派の画家たちの作品を共に展示し、琳派からの影響に注目します。

近代の画家たちにも受け継がれる、琳派の表現・画題



俵屋宗達「鳥図」
江戸時代 17世紀前半



小林古径「麦」大正15年(1926)



下村観山「秋韻図」
明治時代 20世紀初頭



鈴木其一「木蓮小禽図」
江戸時代 19世紀中頃



鈴木守一「富士図屏風」
江戸～明治時代 19世紀後半



川合玉堂「富嶽」大正7年(1918)



福井江太郎氏による「無」と「空」同時初公開！（4階展示室）

当館では、縦12m、横30mに及ぶ風神・雷神の大壁画「風・刻」を描いた福井江太郎氏によるライブペインティングイベントを、2018年と2020年に開催しました。その際に生み出された作品、「無」と「空」を初めて同時に公開します。



⑩福井江太郎「空」2020年

撮影：橋本憲一



福井江太郎「無」2018年

撮影：橋本憲一



福井江太郎氏

1969年東京都生まれ。1994年多摩美術大学大学院美術研究科修了。2003年文化庁買上優秀美術作品に駝鳥の大作「阿・I」選出。2008年以降はニューヨークにもアトリエを構え、日本とニューヨークを拠点に各国の美術館やギャラリーで個展を重ねる、気鋭の日本画家。

◀ 2020年8月29日に行われたライブペインティングの様子

会期中のイベント

会場：5階ホール／定員あり／参加費無料（要入館料）

館長・小林忠による講演会ならびに当館学芸員による関連講座・特集展示スライドトーク

講演会

- 東西の美人画 — 清方と松園 —
日 時：2021年6月12日（土）13:00～14:30
講 師：小林 忠（岡田美術館 館長）
- 大観・春草と栖鳳・華岳
日 時：2021年8月21日（土）13:00～14:30
講 師：小林 忠（岡田美術館 館長）

《講演会の申込方法》

電話にてお名前・人数・ご連絡先をお知らせください。定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。

TEL：0460-87-3931

関連講座 ※申込不要

- 富士も美人も観音様も！
— 色とりどりの東西日本画 —
日 時：2021年7月17日（土）13:00～14:30
講 師：稲嶋 朋子（岡田美術館 学芸員）

特集展示スライドトーク ※申込不要

- 日本の漆 — 蒔絵を中心に —
日 時：2021年9月4日（土）13:00～14:00
講 師：塩谷 尚子（岡田美術館 学芸員）

【開催要項】

展覧会名 東西の日本画 ― 大観・春草・松園など ―
会期 2021年4月3日（土）～9月26日（日）
休館日 会期中休館日なし
主催 岡田美術館
所在地 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷 493-1
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
入館料 一般・大学生 2,800円（2,550円） 小中高生 1,800円（1,550円）
※（ ）内は前売り料金。前売券（JTB レジャーチケット、チケットぴあ）は、
主要コンビニエンスストア並びにチケットぴあにて販売

<スライドトーク>

◎館長によるスライドトーク：2021年4月15日、5月6日・20日、6月3日・17日、7月1日・22日、
8月5日・19日、9月2日・16日 いずれも木曜日 13:30～

◎学芸員によるスライドトーク：2021年4月16日～9月17日の毎週金曜日 11:00～

※申込不要／定員あり／参加費無料（要入館料）

【次回展予告】 サムライの絵画／特集展示 中国の青磁（仮） 2021年10月2日（土）～2022年2月27日（日）

※新型コロナウイルス感染防止のため、展示内容や各種イベントを変更する場合があります。最新情報は、当館ホームページもしくは広報担当までお問い合わせください。

※2021年3月28日まで開催中の特別展「画遊人・若冲」に伴い、「東西の日本画」展会期中は、伊藤若冲の作品の展示はありません。

【庭園について】

春から夏にかけて、当館の庭園や敷地内では、約400株の様々な種類の牡丹や、紫陽花が咲き誇ります。美術鑑賞のあとは、箱根の美しい自然の中で過ごすひとときをお楽しみください。

⑪牡丹の群生（庭園・敷地内沿道） 開花時期：4月下旬～5月



⑫紫陽花（庭園・敷地内沿道） 開花時期：6月～7月頃



【本件に関するお問い合わせ先】

・岡田美術館 広報担当：高橋・近森 TEL：0460-87-3931 FAX：0460-87-3934 E-mail：pr@okada-museum.com
※展示替えによる休館中（3月29日～4月2日）は留守番電話となります。お問い合わせは上記メールアドレスをご利用ください。

【岡田美術館について】

岡田美術館は 2013 年 10 月、箱根・小涌谷に開館しました。全 5 階、展示面積約 5,000 m² という屋内展示面積としては箱根随一を誇る広大な館内に、日本・東洋の陶磁器や絵画などの美術品を常時約 450 点展示しています。日本で受け継がれてきた美術品を大切に守り、美と出会う楽しさを分かち合い、次代に伝えたい、との願いから、美術館が構想されました。美術館の正面を飾るのは、現代日本画家・福井江太郎氏によって描かれた縦 12m、横 30m に及ぶ風神・雷神の大壁画「風・刻（かぜ・とき）」（2013 年）です。他にも深見陶治氏、諸井謙司氏、樂雅臣氏など、現代作家の作品が屋内外に展示され、来館者をお迎えます。その他付帯施設もお楽しみください。



大壁画

琳派の祖ともいえる俵屋宗達の「風神雷神図屏風」をもとに、日本画家福井江太郎氏が現代に甦らせました。構想も含め 5 年の歳月を掛けて制作した大壁画「風・刻」が、皆様をお迎えます。

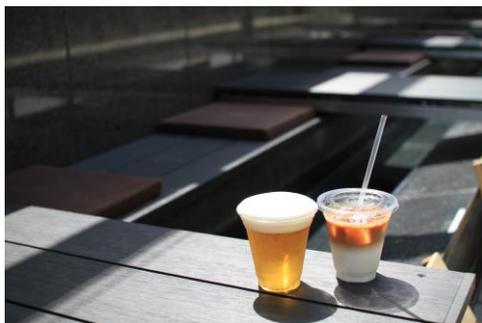
⑬美術館外観



開化亭

昭和初期の日本家屋を改装した風流な飲食施設「開化亭」は、明治半ば、この地にあった外国人向けホテルにちなんで名づけられました。趣ある古いガラス戸の向こうには、2 か所に滝が流れ落ち鯉が回遊する池と、季節によって表情を変える庭園の木立が広がっています。「名物豆アジ天うどん」をはじめ、各種ドリンクなどをご用意しています。

⑭開化亭（初夏）



足湯カフェ

風神・雷神の大壁画を前にした 100% 源泉かけ流しの足湯カフェでは、コーヒー、ビール、おしるこなどをお楽しみいただけます。中でも静岡県産の茶葉を使用した和紅茶は、「食のオスカー」とも呼ばれる『Great Taste Awards (英)』で金賞を受賞した逸品です。

⑮足湯カフェ



ミュージアムショップ

「美術館の感動を日常でも楽しめる」をコンセプトに、さまざまなオリジナルグッズをご用意しています。中でも、専属ショコラティエが手掛けるアートなチョコレートは、見た目はもちろん、「ブドウ×ゴルゴンゾーラチーズ」、「ピーチアプリコット×ベルベヌ」など、フルーツやハーブを組み合わせたフレーバーも特徴的で、当館ならではの土産としてご好評をいただいております。

⑯Okada Museum Chocolate『波と富士』4,800 円（税込）

東西の日本画 — 大観・春草・松園など —

広報用画像

広報用画像をご使用の際は下記の点にご注意ください。

- * 写真データの使用は本展覧会の紹介目的に限り、二次使用や改変（部分使用含む）は行わないでください。
- * ご使用後 2 週間以内に、当館より貸与した写真データ（以下原データという）を記録した媒体は当館に返却のうえ、保有する原データ（作業上発生したすべての原データの複製物及び複製データを含む）は消去してください。
- * web 掲載の際は「画像写真の無断転載を禁じる」旨を表記してください。
- * 作品写真には「岡田美術館蔵」、作者名、作品名、制作年ほか当館の指定する項目を表記してください。
スペースに限りがあり、すべての記載が難しい場合は別途ご相談ください。
- * ご紹介いただく際は、本展の基本情報（日時・会場・電話番号・写真キャプションなど）の確認のため、校正を岡田美術館広報担当者までメールまたは FAX でお送りください。校正期間は中 3 営業日を基本として返答させていただきますので、期間に余裕をもってご送付ください。大変恐縮ではございますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- ※ 下記素材以外の写真データが必要な場合は、別途お問い合わせ願います。

			
① 汐くみ（部分）	② 虎図屏風（部分）	③ 霊峰一文字（部分）	④ 木蓮（春園麗華）（部分）
			
⑤ 観世音座像（部分）	⑥ 旭光耀々（部分）	⑦ 海月（部分）	⑧ 溪村秋晴（部分）
			
⑨ 白花小禽（部分）	⑩ 空	⑪ 牡丹の群生	⑫ 紫陽花
			
⑬ 美術館外観	⑭ 開化亭（初夏）	⑮ 足湯カフェ	⑯ Okada Museum Chocolate 『波と富士』

東西の日本画 —大観・春草・松園など— 広報用画像データ貸出申込書

プレスリリースをご参照の上、ご希望の写真 No. に✓印をお付けください。

✓	No.	掲載時のキャプション
	1	上村松園「汐くみ」(部分) 昭和 16 年 (1941) 岡田美術館蔵
	2	大橋翠石「虎図屏風」(部分) 明治時代 19 世紀末~20 世紀初頭 岡田美術館蔵
	3	横山大観「霊峰一文字」(部分) 大正 15 年 (1926) 岡田美術館蔵
	4	速水御舟「木蓮(春園麗華)」(部分) 大正 15 年 (1926) 岡田美術館蔵
	5	村上華岳「観世音座像」(部分) 昭和 12 年 (1937) 岡田美術館蔵
	6	菱田春草「旭光耀々」(部分) 明治時代 20 世紀初頭 岡田美術館蔵
	7	菱田春草「海月」(部分) 明治時代 20 世紀初頭 岡田美術館蔵
	8	川合玉堂「溪村秋晴」(部分) 昭和時代 20 世紀前半 岡田美術館蔵
	9	小林古径「白花小禽」(部分) 昭和 11 年 (1936) 岡田美術館蔵
	10	福井江太郎「空」2020 年 岡田美術館蔵 撮影：橋本憲一
	11	牡丹の群生
	12	紫陽花
	13	美術館外観
	14	開化亭
	15	足湯カフェ
	16	Okada Museum Chocolate 『波と富士』

申し込みフォーム *お名刺の添付でも構いません			
貴社名			
媒体名			
ご担当者様名		TEL	
部署名		FAX	
E-mail			
ご住所	〒 —		
放送・掲載内容			
放送・掲載予定日	年 月 日	放映エリア/ 発行部数	
画像データ 必要期限	年 月 日		

★プレゼント用招待券をご希望の方は、別途広報担当にご相談ください